

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)JR尼崎駅前計画	階数	地上19F
建設地	兵庫県尼崎市長洲本通一丁目39番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域 高度利用地区、防火	平均居住人員	708 人
地域区分	4地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2023年2月16日
敷地面積	2,471 m ²	作成者	和田充弘
建築面積	1,105 m ²	確認日	2023年2月17日
延床面積	14,917 m ²	確認者	竹端鉄平



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記+②以外の 74%
④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	環境と負荷低減に配慮し、緑地を確保し緑量感のある計画を行っている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	室内環境の向上を目指しF☆☆☆☆建材を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界沿いに緑化を行い、周辺への景観に配慮している。
LR1 エネルギー	外皮を断熱等性能等級4の仕様とする。	LR3 敷地外環境 適切な駐車スペースを確保し、敷地内外の環境に配慮した計画を行っている。
Q2 サービス性能	劣化対策等級3の取得を予定、耐久性に優れた建物としている。	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材種別を採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される